

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：環境政策課  
 担当名：創エネルギー推進担当  
 内線：3004 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B14	水素エネルギー普及推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	低炭素分散型エネルギー社会構築事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	エネルギー政策基本法				戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築	
							分野施策	040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進	
<b>1 事業の概要</b> 水素エネルギーの普及を図るため、水素供給インフラの整備や燃料電池自動車の普及などに取り組む。 執行節減に伴う減額 (2) 埼玉県水素エネルギー普及推進協議会の運営△ 1千円 (3) 水素供給インフラの整備に係る市町村との調整及び現地調査△ 19千円 (4) FCV率先導入事業△ 2千円 (5) 水素エネルギー普及推進事業△ 2千円 (6) 水素ステーションの運営・管理△ 200千円 事業実施時期の見直し等に伴う減額 (9) 先進的事業推進補助△ 104,129千円 (10) 県庁舎等への燃料電池導入事業△ 30,004千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 埼玉県水素エネルギー普及促進協議会の運用 155千円→ 154千円 イ 水素供給インフラの整備に係る市町村との調整及び現地調査 190千円→ 171千円 ウ FCV率先導入事業 3,262千円→ 3,260千円 エ 水素エネルギー普及推進事業 5,020千円→ 5,018千円 オ 水素ステーションの運営・管理 12,136千円→11,936千円 カ 燃料電池自動車導入補助 100,000千円 キ 先進的事業推進補助 156,939千円→52,810千円 ク 県庁舎等への燃料電池導入事業 30,253千円→ 249千円 ケ 水素社会実現にむけた検討・調査 12,540千円 (2) 事業計画 平成26～30年度 埼玉県水素エネルギー普及推進協議会の運営 平成27～35年度 県庁ソーラー水素ステーションの運営・管理 平成27～ 燃料電池自動車導入補助 平成27年度 水素社会普及戦略の策定 県有施設への大型燃料電池発電の導入の検討・設計 県有施設への燃料電池発電の導入 (3) 事業効果 ・化石燃料に代わり再生可能エネルギーで製造した水素を活用することで劇的にCO2削減が進む ・蓄電池に加えてエネルギーの貯蔵と輸送の選択肢が拡大することで、さらなるエネルギーの効率利用が可能になる。 ・燃料電池をはじめとする水素エネルギー関連技術は日本が誇る先進技術であり、海外との産業競争力の強化につながる。 (4) 補正予算の概要 ア 事業実施時期の見直し、補助申請額の減に伴う減額 △ 134,096千円 イ 執行節減に伴う減額 △ 261千円					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 県10/10									
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×1.5人									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△134,357							△134,357	186,138
現計額	320,495							320,495	